
苫小牧市美術博物館 年報

第7号（令和元年度）

苫小牧市美術博物館

苫小牧市美術博物館 年報7号 目次

1 事業報告	2
(1) 展示事業	2
(2) 教育普及事業	5
(3) 資料の収集・保存	9
(4) 調査・研究事業	11
(5) 広報・CS向上	11
(6) 市民協働	12
(7) 埋蔵文化財の保護	12
(8) 展示室貸出事業	12
(9) 大会への参加事業・研修	12
(10) 市史編纂事業	12
2 入館者	13
3 令和元年度決算	14
(1) 歳入	14
(2) 歳出	14
4 令和2年度予算	15
(1) 歳入	15
(2) 歳出	15
5 施設の概要	16
(1) 沿革	16
(2) 施設見取り図・概要	18
(3) 組織	19

はじめに

苫小牧市美術博物館《あみゅー》は、2013年7月のリニューアルオープンから今年で8年目を迎えます。

「樽前山麓と勇払原野の自然と文化」を主軸とする博物館事業に加え、「市民に開かれ」「子どもたちの感性を育む」「文化芸術活動の拠点として」を基本理念とする美術館事業を実施し、各種特別展、郷土に根ざした作家を紹介する企画展のほか、リニューアル後の改修により新設された中庭を利用した新進気鋭の作家による屋外展示などを展開して参りました。

博物館時代から実施してきた郷土の自然・考古・歴史に関連する展覧会についても地域情報や学芸員の調査研究の公表の場として継続するほか、各種教育普及事業も実施しております。

このように多岐にわたり事業を展開できたのも、企業・各館園および研究機関、各種団体・個人の皆様のお力添えのお陰と、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本号では、2019年度の事業内容を記載しております。

特別展では、「第一洋食店の100年と苫小牧」を開催し、多くの芸術家が集う文化サロンとしての役割を担った同店および本市の発展の足跡にふれ、記憶に残る特別展となりました。

考古学に対する理解を深めた「とまこまい考古コレクション」、日胆地区ゆかりの美術家による「NITTAN ART FILE3」、郷土の作家を取り上げた「浅野武彦の木版画の世界」、苫小牧の歴史に触れる「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧」を開催。また、「植物細事記」や「本拠と外 | Home and Away」、「ユア・セレクション～収蔵名品選展より」などの特集展示、収蔵品展、中庭展示など、歴史、考古、自然、美術の各分野を融合した地域色豊かな事業を実施しました。

最後になりますが、当館の運営及び各種展示・教育普及事業の実施にご協力を賜りました皆様、事業の受付や展示監視活動に携わっていただきました登録ボランティア及び美術館友の会事業部の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

苫小牧市美術博物館

館長 武田 正 哉

1 事業報告

(1) 展示事業

① 特別展

○「第一洋食店の100年と苫小牧」

令和元年7月13日(土)～9月16日(月・祝)(来館者数：3,889名)

特別協力：第一洋食店

後援：毎日新聞社、苫小牧商工会議所、苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星

本展示は、令和元年に創業から100年の節目を迎えた老舗洋食店「第一洋食店」と近代苫小牧が辿った歴史、さらには同店が担ってきた本市における文化サロンとしての役割について、同店の収蔵資料や関連する歴史資料を中心に展示し、苫小牧の歴史や文化を紹介することを目的として開催した。

(関連行事)

7月13日(土) オープニングセレモニー(参加者83名)

7月27日(土) 夜間開館ギャラリートーク(参加者9名)

7月28日(日)、9月7日(土)、16日(月・祝) ギャラリートーク(全3回・参加者91名)

8月10日(土) 第一洋食店100年記念ランチ会(参加者34名)

8月11日(日) 蓄音機クラシックコンサート(参加者10名)

8月30日(金) 第一洋食店の足跡を訪ねて(参加者22名)

② 企画展

○「とまこまい考古コレクションー縄文からトーチカまでー」

平成31年4月27日(土)～令和元年6月23日(日)(来館者数：3,894名)

協力：千歳市教育委員会

後援：苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星

苫小牧市埋蔵文化財調査センターを中心に、これまで苫小牧市内で行われてきた発掘調査によって出土した資料を紹介した。

(関連行事)

5月18日(土) まが玉をつくってみよう(参加者数：18名)

4月27日(土)、5月3日(金・祝)、19日(日)

学芸員による展示解説会(全3回 参加者：47名)

○「NITTAN ART FILE3：内なる旅～モノに宿された記憶」

令和元年10月5日(土)～11月24日(日)(来館者数：3,446名)

協力：石川県立自然史資料館、NPO法人樽前artyプラス、金沢大学資料館、株式会社中央発條製作所、株式会社堀内カラー、さっぽろ天神山アートスタジオ、至峰堂画廊、スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

後援：苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星、北海道新幹線×nittan地域戦略会議

企画展シリーズ「NITTAN ART FILE」(2015年～)は、当館の立地する北海道胆振・日高地方(日胆(にったん))ゆかりのアーティストや、その土地をテーマとする作品を紹介してきた。第3弾となる本展では、ミュージアムにおける「モノ=資料、事物、対象」との出会いがもたらす感動や郷愁、そして時空を超えて心の中に宿される記憶や物語など、想像力が導くイメージを「内なる旅」として位置づけ、美術家・浅井真理子、映像作家・大島慶太郎、グラフィックデザイナー・小島歌織、画家・山田啓貴ら4人の現代作家の作品を展示した。

(関連行事)

10月5日(土) アーティストトーク(参加者数:35名)

11月10日(日) ワークショップ「ルネサンスの技法体験!テンペラと油絵具」

講師:山田啓貴氏(画家) (参加者数:20名)

10月5日(土)～11月24日(日)「資料と映像表現の出会い@ミュージアム:ワークショップ」

成果展示 講師:大島慶太郎氏

○「浅野武彦の木版画の世界」

令和元年12月7日(土)～令和2年1月19日(日)(来館者数:1,323名)

後援:苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星

苫小牧ゆかりの木版画家・浅野武彦(1927-2016)の木版画作品約100点を「風景」「植物」「いきもの」「骸骨」の4つのグループに分けて紹介した。50年以上におよぶ制作活動の作品が一堂に会し、自然や生き物を真摯なまなざしで捉えた浅野の作品世界を味わう機会となった。併せて、浅野に宛てられた川上澄生の書簡を展示し、その文面と言及された作品との比較から、作家同士のあたたかな交流や、苫小牧において生まれた木版画家2人の関係を改めて知ってもらう機会とした。

(関連行事)

12月7日(土)、21日(土) 担当学芸員による展示解説会(全2回 参加者数:35名)

12月15日(日) ワークショップ「いも版でクリスマスカード、年賀状をつくろう」

(参加者数:14名)

1月11日(土) ワークショップ「紙版画をつくろう!」(参加者数:18名)

○「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧」

令和2年2月8日(土)～3月29日(日)(来場者数:1,653名)

※コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて3月4日(水)～22日(日)は休館

協力:北翔大学 水野研究室、苫小牧美術愛好会 代表 本間弘章

後援:苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星

大正時代から昭和のはじめにかけて吉田初三郎らの絵師が制作した全国の鳥瞰図など約80点と、昭和30年代後半から40年代にかけて志方写真工芸社が空撮を試みた市街地と現在の空撮写真を対比して展示し、鳥瞰の視点を通した印刷・写真文化と記録の重要性を伝えた。

(関連行事)

2月8日(土)、9日(日) 担当学芸員による展示解説会(全2回 参加者数:45名)

2月23日(日・祝) 特別解説会(全2回 参加者数:49名)

講師:水野信太郎氏(北翔大学教授)

③ 特集展示

○「植物細事記―身近な木々の一年を辿る―」

平成31年 4月27日(土)～令和元年 6月23日(日)(来場者数：3,894名)

苦小牧で身近だが普段じっくりと観察することが少ない植物の繊細な美しさや形態の面白さを実感してもらおうという趣旨のもと、札幌在住のスキヤングラフナー・孫田敏氏の作品を展示した。

(関連行事)

4月27日(土) 展示解説会(参加者数：38名)

5月25日(土) スキャン実演会(参加者数：33名)

○「本拠と外 | Home and Away」

令和2年 2月8日(土)～3月29日(日)(来場者数：1,653名)

※コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて3月4日(水)～22日(日)は休館

既存の世界をある一定の地点から見下ろす鳥瞰の視点には、万物の成り立ちを理解・整理しようとする人間の普遍的な欲求が潜在しているといえる。企画展「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苦小牧」に連動したかたちで実施する本展では、世界を展示物のように対象化して見せる美術家・坂東史樹の作品に看取される鳥瞰のまなざしと、絵葉書や古写真など既存の印刷物という「他者の世界」に垣間見られるまなざしを援用する映像作家・大島慶太郎の映像作品などを通して比較した。

④ 収蔵品展

○「ユア・セレクション～収蔵名品選展より」

令和元年12月7日(土)～令和2年 1月19日(日)(来場者数：1,323名)

平成29(2017)年度に実施した収蔵品展「苦小牧市美術博物館所蔵名品選」では、企画展示室すべてを使い96点に及ぶ所蔵作品を展覧することでその魅力を発信し好評を博した。同展の会期中に気に入った作品に投票するイベント「あなたが選ぶこの1点」を実施したところ、延べ136件の応募があった。本展では、同企画のベスト8に選ばれた遠藤ミマン、鹿毛正三、国松登らの作品を展示した。

⑤ 中庭展示

改修した中庭展示スペースを活用した、気鋭の現代作家による立体作品展示シリーズ

○Vol.12 半谷学「花降り―Flower Fall―」

平成31年 4月27日(土)～令和元年 9月16日(月・祝)

○Vol.13 坂東史樹「小さくて深い空」

令和元年10月5日(土)～令和2年 3月29日(日)

(2) **教育普及事業** ※全て講師名は敬称略、所属等は平成31年4月現在

① **通年プログラム**(登録制の各種プログラム)

○**美術博物館大学講座**(対象：18歳以上 登録者数：113名)

苫小牧や胆振・日高、北海道に関する自然、芸術、歴史の各分野の講師による講演を実施した。

日時	内容	講師名	参加者
R1.6.8	入学式・ 「植物の分布から見た 北海道や苫小牧の特徴」	五十嵐 博 (北海道野生植物研究所所長)	98名
R1.7.20	「北海道の両生類～ 在来種の魅力と外来種の脅威」	岸田 治 (北海道大学北方生物圏フィールド 科学センター苫小牧研究林准教授)	83名
R1.8.24	「今を支える土木遺産」	今 尚之 (北海道教育大学教育学部准教授)	80名
R1.9.21	「苫小牧の馬文化 ～馬とともに生きる～」	武田 正哉 (当館学芸員・副主幹)	76名
R1.10.19	「チョウが語る北海道の自然」	永盛 俊行 (富良野の自然に親しむ会代表)	69名
R1.11.9	「アイヌ風俗画の世界」	新明 英仁 (市立小樽美術館館長)	80名
R1.12.14	「恵庭の漆文化」	長町 章弘 (恵庭市郷土資料館学芸員・主査)	72名
R2.1.18	「『風景画』と苫小牧の美術」	細矢 久人 (当館主任学芸員)	75名
R2.2.29	「熊を祀る～縄文からアイヌまで」 ・卒業式	岩波 連 (当館学芸員)	0名*

*新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて講演は中止とし、資料を郵送して対応した。

○**子ども広報部「びとこま」**(共催：NPO法人樽前artyプラス 登録者数：13名)

小中学生の子ども記者を募集し、展覧会の取材、撮影・記事作成を指導し、子ども広報紙「びとこま」を発行した。

令和元年5月～令和2年2月(年8回実施) 子ども広報紙発行：2回 総参加者数：112名

○**古文書解読講座**(対象：高校生～大人 登録者数 初級編：30名 中級編：31名)

古文書解読にあたって必要なくずし字解読の基礎や古文書から歴史を読み解くことを学ぶ講座を開催した。

(初級編)11月17日、24日、12月1日、8日、22日

(中級編)7月21日、8月4日 総参加者数：160名 講師：佐藤 麻莉

○**遺跡報告会**

今年度に行った遺跡発掘調査の報告会を令和2年3月21日に実施する予定だったが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて中止した。

② 体験プログラム(一般申込型普及事業)

○美術博物館祭2019 7月26日(金)~28日(日)(参加者数:1,652名)

博物部門の常設展示に改めて注目してもらうために、体験を中心とした行事を実施した。「資料と映像表現の出会い@ミュージアム」「はくぶつ型ぬき教室」「とまチョップの紙飛行機をつくろう!」「展示&カルチャーパーク クイズラリー」「ナイトツアー」「バックヤードツアー」「特別展解説会」などのプログラムを実施した。

○ミュージアムラボ(対象:小学生~一般)

体験を通して自然、歴史や美術に親しむ行事を実施した。

日時	内容	講師名	参加者
R2.1.5	お正月の遊び~百人一首	佐藤 麻莉	17名
R2.1.12	エゾシカの角の工作	岩波 連	28名

○無料観覧日

多くの方に美術博物館に親んでもらうため、無料観覧日「子どもの日」「文化の日」に合わせて体験など参加型イベントを実施した。

日時	内容	実施内容	参加者
R1.5.5	ゴーゴーミュージアム	「あみゅーたんけん隊」 「ポップアップカードづくり」 「ペーパーフラワーをつくろう」 など	1,025名
R1.11.3	あみゅー秋のサンクスデー	「渡り鳥を観察しよう」 「とまチョップクイズ大会」 「わくわく縄文ランド」 など	888名

○自然観察会

苫小牧の自然環境を体験を通して学ぶことを目的に、身近な環境で季節の渡り鳥を観察したり、ウトナイ湖の昆虫で採集標本を作る観察会を実施した。

日時	内容	講師名	参加者
R1.5.2	双眼鏡で渡り鳥を見つけよう!	江崎 逸郎	15名
R1.6.29 R1.7.15	実感!しらべてわかるウトナイ湖の生物多様性-昆虫編-(2回連続講座)	江崎 逸郎	13名

○歴史見学会

特別展関連事業の一環として実施。第一洋食店初代山下十治郎が司厨長として赴任した王子倶楽部から廻り、開業地本町の旧店舗跡、現在の錦町店舗までを徒歩で辿った。

日時	内容	講師名	参加者
R1.8.30	第一洋食店の足跡を訪ねて	武田 正哉・佐藤 麻莉	22名

③ 学校連携プログラム

○郷土学習

小学校社会科副読本「のびゆく苦小牧」と連動した、展示と体験など資料を活用した学習を実施した。

9月～11月 対象：市内小学校24校3・4年生 受講児童：1,521名(教職員73名を含む)

○アウトリーチ事業 みゅーじあむinスクール

学芸員による美術の鑑賞授業を市内小中学校で行った。

11月12日(凌雲中学校2年生64名)、11月13日(啓明中学校2年生107名)、

11月15日(苦小牧東小学校5年生34名) 受講生徒：合計205名

○教員のための博物館の日

(共催：国立科学博物館、日本博物館協会 協力：苦小牧教育研究所)

当館の機能や資源を知ってもらうことを目的に、日頃館を利用することの少ない教職員に授業で館を活用するための情報を研修という形で提供した。

8月7日 対象：周辺地域の教員等 参加教員：47名

○職場体験

市内中学校の生徒が仕事を学ぶ機会として実習を実施した。

10月16日(啓北中学校3名)、10月17日(明倫中学校3名)、10月18日(明野中学校2名)、

11月14日(植苗中学校1名) 受講生徒：合計9名

○インターンシップの受入れ

高校生が仕事を学ぶ機会として実習を実施した。

11月6日(水) 白老東高校4名

○社会科自由研究発表会(主催：苦小牧市教育研究会社会科部会)

市内小中学生が夏休み期間に作成した社会科自由研究作品の表彰並びに優秀作品の発表会を開催した。

9月28日(土) 参加者数：58名

○学芸員実習の受入

学芸員資格取得のための実務実習を実施した。

8月20日(火)～31日(土)のうち8日間 実習生：1名

④ その他の教育普及事業

○出前講座・講師派遣

日 時	団 体	演 題	対応学芸員	参加者
R 1.5.8	糸井小学校	苫小牧の大昔	岩波 連	41名
R 1.5.16	沼辺の会	苫小牧の野鳥	江崎逸郎	15名
R 1.6.28	明德小学校 4 年生	アイヌ文化について	佐藤麻莉	28名
R 1.8.11	北海道胆振総合振興局	野鳥観察と標本について	江崎逸郎	48名
R 1.8.22	勇弘小学校	苫小牧の歴史	武田正哉	17名
R 1.10.6	出光興産株式会社北海道製油所	野鳥観察	江崎逸郎	38名
R 1.10.13	苫小牧俳句協会	苫小牧の野鳥	江崎逸郎	35名
R 1.10.31	日新小学校 5 年生	樽前山の火山学習	江崎逸郎	65名
R 2.2.7	老人クラブ恵比寿会	苫小牧の大昔	岩波 連	20名
R 2.2.16	苫小牧郷土文化研究会	薬種からひもとく近世蝦夷地	佐藤麻莉	67名
R 2.2.18	拓勇小学校 3 年生	昔の道具とくらし	武田正哉 佐藤麻莉	132名
R 2.2.19	拓進小学校 3 年生	昔の道具とくらし	武田正哉 佐藤麻莉	153名
R 2.2.26	泉野小学校 3 年 1 組PTA	苫小牧の野鳥	江崎逸郎	39名
R 2.2.26	苫小牧東小学校 3 年生	昔の道具とくらし	武田正哉 佐藤麻莉	26名

(3) 資料の収集・保存

① 資料の増加状況(過去5年分)

年度	考古	歴史	民族	自然	芸術	合計
27	(0) 45,204	(29) 49,566	(0) 1,805	(10) 42,340	(26) 1,357	(65) 140,272
28	(0) 45,204	(61) 49,627	(0) 1,805	(26) 42,366	(0) 1,357	(87) 140,359
29	(0) 45,204	(25) 49,652	(0) 1,805	(9) 42,375	(161) 1,518	(195) 140,554
30	(0) 45,204	(6) 49,658	(0) 1,805	(0) 42,375	(1) 1,519	(7) 140,561
元	(0) 45,204	(2) 49,660	(0) 1,805	(0) 42,375	(4) 1,523	(6) 140,567

※()内は、各年度における資料の増加点数

② 購入資料

月日	資料名	数量	分類
R2.3.27	蝦夷行程記 上・下巻 阿部喜任纂述 安永3年	1点	歴史
R2.3.27	「苦小牧・王子製紙・支笏湖」等 絵葉書 20枚セット	1点	歴史

③ 寄贈資料

月日	資料名	数量	分類
R1.6.8	油彩画(作者：大友一夫、油彩、制作年不詳)	1点	芸術
R1.6.8	油彩画(作者：鹿毛正三、油彩、制作年：1972年)	1点	芸術
R1.6.18	油彩画(作者：沼田卓、油彩、制作年：1994年1点、1996年1点)	2点	芸術

④ 利用状況

貸出先	資料	利用目的	月日
苦小牧市立中央図書館	佐藤国男作版画「牛」	市立中央図書館閲覧室にて開催される佐藤国男版画展に展示するため	4月第3週 ～ 6月第1週
(公財)日本野鳥の会 ウトナイ湖 サンクチュアリ	オオジシギ標本	親子対象の自然観察会(えこりん村:恵庭市牧場277-4)で教材として使用するため	6月12日 ～6月19日
北海道 胆振総合振興局	①柏原18遺跡土偶の写真データ ②柏原5遺跡ヒスイの飾玉の写真データ ③静川遺跡の航空写真	「北の縄文パネル展」で使用するため	7月下旬 ～令和2年 2月28日

貸出先	資料	利用目的	月日
上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 浅倉有子	アイヌ民族関係資料 (漆器、天目台、行器等)	アイヌ民族が利用した漆器に関する研究のため	7月24日 ～7月25日
石狩市学芸協力員 石橋孝夫 石狩市学芸員 荒山千恵	①アイヌ期のキテ ②弁天貝塚出土資料3点 ③民族資料4点	石狩市にあるキテとの形態比較のため	8月29日
北海道博物館	美々鹿肉缶詰製造所跡出土鉄製品(缶詰)	北海道博物館第15回企画展「エゾシカ」に展示するため	10月1日 ～12月27日
北海道大学大学院 文学研究科 専門研究員 関谷由一	沼ノ端出土アイヌ丸木舟(写真)	出版物「万葉集羅旅歌論」(北大出版会)への写真を掲載するため	11月21日
山田啓貴(画家)	食品サンプル3点	絵画作品のモチーフモデルとして使用するため	11月26日 ～令和2年 8月
帯広百年記念館	カモ科を中心とした水鳥標本	令和2年度帯広百年記念館「カモ展(仮)」のための資料調査	1月25日
環境省北海道地方 環境事務所	昆虫乾燥標本(タガメ)	標本調査のため	2月25日
八雲郷土資料館・ 木彫り熊資料館 学芸員 大谷茂之	イクパスイ、熊意匠付き土器、 土製熊製品	熊意匠の変遷についての研究のため	3月21日
国立アイヌ民族 博物館設立準備室	①アイヌ資料 死者用沓 No.1314 ②アイヌ資料 刀懸け帯 No.EM-44(写真)	科学研究費による報告書「アイヌ・北方諸民族の頃も文化と織布文化」へ写真を掲載するため	3月30日
北海道博物館	ニンカリ資料105点(写真)	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要第5号掲載のため	3月24日
株式会社 平凡社 別冊太陽編集部	沼ノ端出土アイヌ丸木舟	別冊太陽「アイヌの歴史をたどる」に掲載するため	データ提供
東京書籍株式会社	エントランス マンモス複製 (写真)	中学校社会科教科書「新しい社会 歴史」に掲載のため	データ提供
札幌映像 プロダクション	アイヌの熊送りの儀式およびタヌキ狩りの16ミリフィルム映像	「アイヌの生活文化再現マニュアル」のDVDに掲載するため	データ提供

(4) 調査・研究事業

学芸員がテーマごとに資料収集・調査研究を実施した。

氏名	分野	研究テーマ
武田 正哉	歴史・民俗	近世・近代の苫小牧地方の歴史遺産と歴史資料
細矢 久人	美術	苫小牧および北日本における近現代美術
江崎 逸郎	自然史	樽前山及び勇払原野一帯の生物相とその変遷
岩波 連	考古	動物考古学
沖津かんな	自然史	苫小牧の自然、苫小牧の書道史
佐藤 麻莉	歴史	日本近世史、北方史
大谷 明子	美術	美術史

(5) 広報・CS向上

① 印刷物の発行

- 逐次刊行物 年報6号、美術博物館だより7号を発行した。
- 展覧会図録 特別展「第一洋食の100年と苫小牧」図録を作成した。
- その他印刷物 年間スケジュール、各種展示会の広報印刷物、「NITTAN ART FILE3：内なる旅～モノに宿された記憶」記録集を作成した。

② 各展覧会におけるポスター・チラシの配布

特別展・各企画展においてポスター・チラシを作成し、市内外に郵送もしくは手持ちで配布した。展覧会ごとに配布先・配布枚数を調整し、効率的に周知できるように工夫した。

③ 美術博物館公式HP

常に最新の情報が掲載されるように展覧会・行事ごとに随時更新をおこない、情報発信に努めた。

④ 美術博物館公式Facebookの運営

2018年12月より公式Facebookの運営を開始した。現在は週2～3回ほど更新し、展覧会や行事の案内のほか、常設展示や展覧会の見どころも写真を添えて紹介し、当館に親しみを持っていただけるような広報を目指している。

⑤ 美術博物館公式Twitterの運営

2020年2月より、公式Twitterの運営を開始した。Facebookとは利用者層が異なり、拡散に効果が期待できるため導入した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う閉館では、HPとあわせて、Facebook・Twitterも活用することにより即時性のある情報を伝達することができた。

(6) 市民協働

- ① 市内の歴史、美術等に関連のある団体を当館の登録団体として支援、協働を行った。
- ・ 苫小牧市博物館友の会の会議に出席し、助言等を行った。
 - ・ 苫小牧市美術館友の会の事務局会議の会場提供、絵画鑑賞会の支援、会議の出席等を行った。
 - ・ 郷土文化研究会の会議会場の提供、講演会の講師派遣、会議の出席等を行った。
 - ・ 苫小牧縄文会の総会や講演会場の提供、バックヤードツアーの実施、無料観覧日の協働等を行った。
- ② ボランティア研修事業(登録者数：38名、総参加者数：99名)
特別展、企画展のレクチャー、車いす体験など研修会を8回実施した。
4月19日(金)、26日(金)、6月27日(木)、7月12日(金)、9月20日(金)、10月4日(金)、12月6日(金)、
2月7日(日) ※3月15日は新型コロナウイルスによる臨時休館のため中止
- ③ カムイノミ・イチャルパ
苫小牧アイヌ協会と共催し、慰霊事業を実施した。
6月23日(日) 参加者62名

(7) 埋蔵文化財の保護

市内の開発工事(各種開発確認・開発区域詳細)に伴う遺跡の有無を確認するための調査
遺跡パトロールの実施

文化財保護法に基づく事前協議・調査・立会 26件

遺跡の所在に関する問合せの対応 139件

市内遺跡発掘調査等事業の実施

苫東静川地区試掘調査 6月11日(火)～7月9日(火)

植苗地区試掘調査 9月3日(火)～9月4日(水)

覚生地区試掘調査 9月5日(木)

植苗地区試掘調査 9月19日(木)～9月20日(金)

美沢地区試掘調査 11月12日(火)～11月14日(木)

(8) 展示室貸出事業

毎年3月～4月に貸出をしているが、今年度は新型コロナウイルスにより中止。

(9) 大会への参加事業・研修

北海道博物館大会	7月16日(火)～18日(木)	北見市
日胆地区博物館協議会 総会	6月5日(水)・6日(木)	新ひだか町
研修会	9月25日(水)・26日(木)	白老町
全国美術館会議 総会	5月22日(水)	札幌市
小規模館研究部会	5月23日(木)	札幌市
国内都市派遣研修	11月19日(火)～22日(金)	東京都、長野県

(10) 市史編纂事業

編さん審議会、事務局会議を実施した。

担当(兼務)：武田正哉・佐藤麻莉

2 入館者

月	個人					団体					合計
	大人	高大	小中	幼児	小計	大人	高大	小中	幼児	小計	
4月	2,293	22	290	108	2,713	11	0	0	0	11	2,724
5月	2,195	28	397	215	2,835	12	38	0	0	50	2,885
6月	1,366	18	238	68	1,690	51	37	126	1	215	1,905
7月	2,479	24	872	496	3,871	135	0	185	114	434	4,305
8月	1,965	46	455	213	2,679	188	0	0	0	188	2,867
9月	2,162	30	372	117	2,681	163	0	296	0	459	3,140
10月	1,314	15	171	94	1,594	248	12	536	0	796	2,390
11月	1,807	27	345	158	2,337	135	0	699	39	873	3,210
12月	1,139	7	108	45	1,299	131	0	0	0	131	1,430
1月	1,033	12	103	85	1,233	3	0	0	30	33	1,266
2月	1,421	16	102	67	1,606	13	0	24	0	37	1,643
3月	803	6	42	27	878	0	0	0	0	0	878
合計	19,977	251	3,495	1,693	25,416	1,090	87	1,866	184	3,227	28,643

※特別展、教育普及事業参加者等を含む

※展覧会関連事業、教育普及事業参加者は個人に含む。ただし、郷土学習は団体参加者に含む

3 令和元年度決算

(1) 歳 入

区 分	予算現額	決算額	説 明
使 用 料 (入 館 料)	3,125,000	2,838,000	常設・企画展観覧料 1,705,200 特別展観覧料 1,132,800
使 用 料 (行政財産使用料)	274,000	40,863	展示室・設備使用料 0 自動販売機電気料金 40,863
受 講 料	130,000	140,400	美術博物館大学講座 140,400
社会教育費 国庫補助金	2,100,000	1,536,000	市内遺跡発掘調査等事業 1,536,000
社会教育費 国庫委託金	350,000	232,000	樽前山砂防工事内埋蔵文化財発掘調査事業 232,000
市民文化芸術振興基金繰入金	4,901,000	4,451,282	市民文化芸術振興基金繰入金 4,451,282
雑 入	840,000	709,000	図録販売収入 478,000 植苗地区レジャー施設建設事業者受託料 231,000
合 計	11,720,000	9,947,545	

(2) 歳 出

区 分	予算現額	決算額	説 明
報 酬	153,000	91,500	
共 済 費	60,000	31,292	美術博物館協議会委員経費 86,560 美術博物館管理運営経費 30,499,752
賃 金	6,572,000	6,148,875	{ 燃料費 3,703,356 電気・上下水道料 4,179,579 管理運営委託料 16,292,913 その他管理運営費 6,323,904
報 償 費	507,000	468,632	
旅 費	1,277,000	1,120,500	
需 用 費	16,422,209	16,076,876	美術博物館活動及び調査研究経費 3,658,796 勇武津資料館管理運営経費 3,054,286
役 務 費	919,000	853,652	{ 燃料費 206,012 電気・上下水道料 431,098 管理運営委託料 1,887,887 その他管理運営費 529,289
委 託 料	28,565,791	27,961,049	
使用料及び賃借料	1,871,000	1,559,943	
原 材 料 費	64,000	59,823	遺跡発掘調査等事業費 3,590,702 美術博物館企画展示事業費 4,861,102
備 品 購 入 費	292,000	247,752	美術博物館特別展事業費 5,094,569 美術博物館祭事業費 451,282
負担金補助及び交付金	75,000	75,000	
合 計	56,778,000	54,694,894	

4 令和2年度予算

(1) 歳入

区 分	当初予算額	説 明
使 用 料	3,003,000	観覧料 1,753,000 特別展観覧料 1,250,000
行政財産使用料	245,000	展示室・設備使用料 245,000
	29,000	自動販売機電気使用料 29,000
受 講 料	130,000	美術博物館大学講座受講料 130,000
社 会 教 育 費 金 国 庫 補 助 金	1,270,000	遺跡発掘調査等事業費補助(文化庁) 1,270,000
市民文化芸術振興 基金繰入金	4,499,000	市民文化芸術振興基金繰入金 4,499,000
一 般 財 源	35,099,000	
合 計	44,275,000	

(2) 歳出

区 分	当初予算額	説 明
報 酬	153,000	
共 済 費	0	美術博物館協議会委員経費 160,000
賃 金	0	美術博物館管理運営経費 28,784,000
報 償 費	437,000	燃料費 3,785,000
		電気・上下水道料 4,214,000
		管理運営委託料 16,081,000
旅 費	1,900,000	その他管理運営費 4,704,000
需 用 費	16,469,000	美術博物館活動及び調査研究経費 4,036,000 勇武津資料館管理運営経費 3,249,000
役 務 費	1,096,000	燃料費 203,000
		電気・上下水道料 473,000
		管理運営委託料 1,978,000
委 託 料	27,109,000	その他管理運営費 595,000
		遺跡発掘調査等事業費 2,541,000
使用料及び賃借料	1,363,000	
原 材 料 費	28,000	美術博物館企画展示事業費 5,087,000
備 品 購 入 費	330,000	美術博物館特別展事業費 4,605,000 美術博物館祭事業費 499,000
負担金補助及び交付金	76,000	
合 計	48,961,000	

5 施設の概要

(1) 沿革

昭和35年 6月	市立苫小牧図書館に郷土博物室設置
45年 1月	苫小牧市青少年センターを建設し、博物展示部門・科学展示部門設置
48年11月	苫小牧百年を記念して、郷土博物館建設方針決定
12月	郷土博物館資料収集調査委員会設置
56年11月	苫小牧市博物館基本構想(案)がまとまり、建設準備委員会を設置
57年 1月	建設準備委員会で埋蔵文化財調査センターの併設を審議
58年 3月	博物館建設の基本計画決定
11月	建築工事着工
59年11月	展示工事着工
60年11月	開館、第1回特別展「苫小牧地方の有形文化財」開催
61年 3月	第1回博物館協議会開催
62年 7月	博物館・埋蔵文化財調査センター、昭和62年度建築業協会賞受賞
63年 7月	常陸宮両殿下来館、博物館友の会設立
9月	第12回特別展「陶磁の東西交流展」開催
平成元年 6月	入館者10万人達成
9月	高円宮両殿下来館、郷土学習開始
2年 8月	開館5周年記念第18回特別展「紙の文化史展」開催
3年 7月	第30回北海道博物館大会開催
4年 9月	入館者20万人達成
5年 2月	第25回特別展「マオリ文化展」開催
6年12月	平成6年度北海道博物館活動交流推進会議開催
7年 7月	開館10周年記念特別展「大昔の苫小牧～よみがえる古代人の暮らし～」開催
8年 3月	「二つの島のかげはし～苫小牧市博物館所蔵品展～」をニュージーランドネーピア市ホークスベイ博物館にて開催。同月、入館者30万人達成
9年 5月	日胆地区博物館等連絡協議会設立総会開催
10年 5月	とまこまい市制50周年記念「シャガールとパリの画家たち展」開催
7月	とまこまい市制50周年記念「出光美術館所蔵ジョルジュ・ルオー展」開催
11年 8月	第43回特別展「日光東照宮宝物展～姉妹都市日光の横顔～」開催
12年 8月	第44回特別展「八王子千人同心と幕末の勇武津」開催
13年 9月	21新世紀記念事業「名品にみる武家の美と心～文化人井伊直弼の世界」開催
14年 8月	苫小牧市民文化芸術振興条例制定記念事業、トヨタ自動車北海道(株)創業10周年記念事業「印象派とその歩み展～感じたままに 瞬間を描く～」開催
15年 7月	第47回特別展「川上澄生の世界～南蛮文化・文明開化・苫小牧～」開催
16年 4月	トヨタ自動車北海道(株)「東京藝術大学に集った画家たち展」開催
7月	第48回特別展「砂田友治の画業～人間賛歌の造形をめざして～」
17年 8月	開館20周年記念特別展「のぞいてみよう恐竜時代～クビナガリュウが見た北海道～」開催
18年 1月	浩宮皇太子殿下来館
7月	第50回特別展「昭和の暮らし～我が家にテレビが来たころ～」開催

- 9月 出光美術館所蔵「中国・滋州窯～なごみと味わい～」開催
- 19年7月 第51回特別展「マッチ・ワンダーランド～歴史・デザイン・喫茶店文化～」開催
- 9月 トヨタ自動車北海道(株)創業15周年記念「エコール・ド・パリ～パリを愛した画家たち展」開催
- 20年2月 入館者60万人達成
- 9月 市制60周年記念出光美術館所蔵「板谷波山展」開催
- 21年7月 第53回特別展「縄文美の極み～亀ヶ岡文化～」開催
- 22年8月 開館25周年記念特別展「紙をつくる 紙でつくる」開催
- 23年7月 ウトナイ湖ラムサール条約登録記念特別展「鳥の世界」開催
- 24年7月 トヨタ自動車北海道(株)創業20周年記念「光から夢をたどって～印象派からエコール・ド・パリまで」開催
- 24年8月 改修工事のため休館
- 25年4月 博物部門常設展再オープン
- 25年7月 苫小牧市美術博物館開館、開館記念特別展「出光美術館所蔵美術展」開催
- 26年7月 開館1周年記念特別展「青森県立美術館コレクション展～アオモリ・アヴァンギャルド：堆積する創造のエネルギー」開催
- 27年9月 特別展「花ひらく近代洋画の世界」開催
- 28年7月 開館3周年記念特別展「Art and Air－空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」開催
- 29年7月 特別展「トヨタ自動車北海道(株)25周年事業 水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」開催
- 9月 特別展「柳原良平の海・船・港」開催
- 30年7月 特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」開催
- 令和元年7月 特別展「第一洋食店の100年と苫小牧」開催

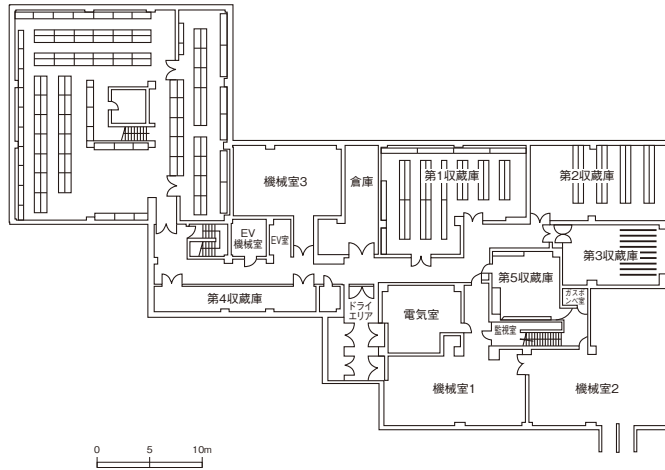
(2) 施設見取り図・概要

構 造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階

建築面積 2,111.24㎡ 延床面積 5,188.82㎡

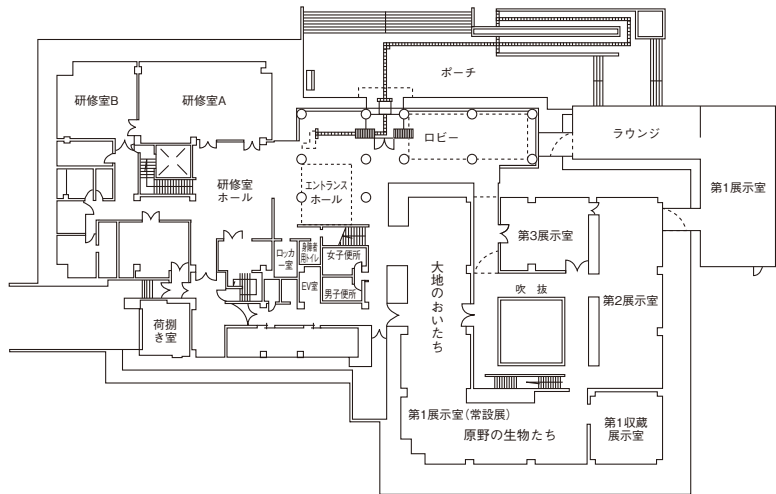
地下

室 名	面積(㎡)
倉 庫	45.16
収蔵庫(第1~3)	303.72
第 5 収 蔵 庫	45.16
そ の 他	1064.14
(小 計)	1458.18



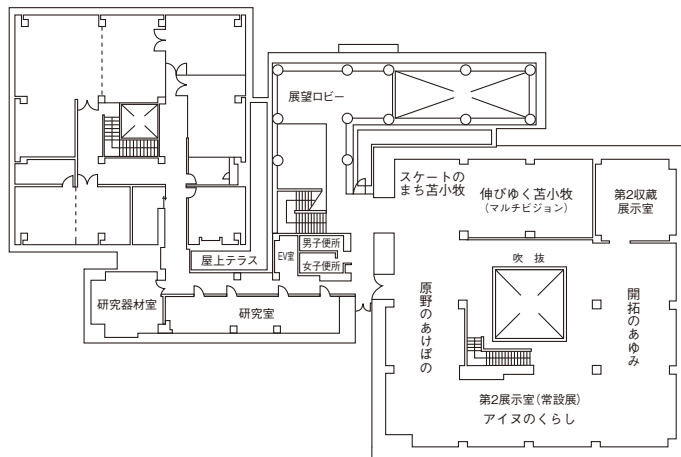
1階

室 名	面積(㎡)
常設展示室	349.44
第1収蔵展示室	75.51
第 1 展 示 室	150.51
第 2 展 示 室	176.54
第 3 展 示 室	82.26
中庭展示(屋外)	(45.16)
ラ ウ ン ジ	80.42
研修室ホール	86.39
研 修 室 A	93.7
研 修 室 B	70.8
事 務 室	39.1
荷 捌 き 室	71.8
そ の 他	832.58
(小 計)	2109.05



2階

室 名	面積(㎡)
常 設 展	623.68
第2収蔵展示室	74.82
マルチビジョン室	106.69
研 究 室	71.49
研究器材室	45.43
展 望 ロ ビ ー	75.25
そ の 他	624.23
(小 計)	1621.59



(3) 組 織(平成31年4月1日現在)

① 美術博物館協議会委員

会 長 揚妻 直樹(北海道大学苫小牧研究林 林長)
副会長 林 廣志(苫小牧写真連盟 会長)
委 員 石川 一美(苫小牧市明野小学校 校長)
居島恵美子(苫小牧市美術館友の会 事務局次長)
大澤智恵美(苫小牧市PTA連合会 副会長)
金田 正弘(苫小牧市博物館友の会 副会長)
菊地 綾子(フリーランスライター(市民公募))
坂元 修(苫小牧市植苗中学校 校長)
橋爪 好伸(苫小牧郷土文化研究会 理事)
山田 利一(苫小牧駒澤大学 教授(市民公募))

② 職 員

館 長(再任用)	長谷川文作
副主幹(学芸員・歴史、アイヌ)	武田 正哉
主 査	小泉 雅生
主任学芸員(美術)	細矢 久人
学芸員(自然史)	江崎 逸郎
学芸員(自然史)	沖津かな
学芸員(美術)	立石絵梨子
学芸員(考古)	岩波 連
学芸員(美術)	大谷 明子
嘱託学芸員(歴史)	佐藤 麻莉
主 事(再任用)	吉田 由恵
受 付(臨時職員)	
設備管理・清掃(委託)	

苫小牧市美術博物館 年報

第7号(令和元年度)

(苫小牧市博物館 館報 通算18号)
(苫小牧市博物館 年報 通算35号)

発行日 令和3年3月
編集・発行 苫小牧市美術博物館
〒053-0011
北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL. 0144(35)2550
FAX. 0144(34)0408
印刷 北光印刷株式会社